

社会福祉法人 十字の園

# ぶどうの木

(ヨハネ福音書 15章)



## 新しい施設づくりへの夢

特別養護老人ホーム

浜松十字の園 施設長 平井 章

「一生夢を持ちなさい。実現しなくても、どうせ夢だもの。」という言葉聞き  
ました。「いらっしゃい。どうぞお上がりください。粗茶ですけど」と迎え入れ  
てくれるのが、職員住宅を改装した通称「サザエさんっ家(ち)」で過ごすAさん  
とBさん。木造建ての特養をつくりたいな。自分でできることは精一杯するけど、  
不安なところは見守って、もっと自分らしく生きられるケアハウスをつくりたいな。

これからは地域の時代、あちこちの中古住宅を買ったり借りたりして、24時間支援体制のある4  
~5人用の高齢者の住む家をつくりたいな。それらの食事を提供する「給食センター」をつくりたい  
な。既存の特養を改修して、もっと住みやすい施設をつくりたいな。働く職員が福祉の仕事が好きで  
いられるような施設をつくりたいな。「地域密着型介護老人福祉施設入所生活介護」「地域密着  
型特定施設入所者生活介護」と堅苦しい言葉の表現ですが、そこには「新しい施設づくりへの夢」  
へのヒントがあるような気がします。五十代最後の年、何年か後の自分の姿を想像しつつ、あるが  
ままの自分を受け入れながら生活できる居場所が選択できるように、いろいろな施設ができたらい  
いな。団塊の世代だからこその発想と夢を持って……。



昨年度から社会福祉法人十字の園では、職員が希望する場合に65歳（定年は60歳ですが）までの継続雇用制度を就業規則に位置づけました。最近、同じ年齢でも昔の人と比べて若いと言われる。「昔の年齢に1.05を掛けて3歳を足すと今の人と同じ」ということを本で読みました。その計算を示すと、

定年 60 歳	⇒	$60 \times 1.05 + 3 = 66$	今の 66 歳
成人 20 歳	⇒	$20 \times 1.05 + 3 = 24$	今の 24 歳
結婚 24 歳	⇒	$24 \times 1.05 + 3 = 28.2$	今の 28 歳
独立 40 歳	⇒	$40 \times 1.05 + 3 = 45$	今の 45 歳
人生 80 年	⇒	$80 \times 1.05 + 3 = 87$	今の 87 歳

となります。何となく納得します。自分の年齢から3歳を引き1.05で割ると、昔の人の年齢になります。私はこの7月に59歳になりますが、昔の年齢に換算すると53歳となります。仕事に油が乗った働き盛りです。そろそろ次の人を育てバトンタッチをする準備の時でもあります。

理事長に就任してからもうすぐ7年目を迎えます。理事長の大切な役割は、法人の創立の精神を受け継ぎ、受け取り、次の人、次の世代に継承していくことだと思っています。

初代理事長の鈴木生二氏は、聖隷保養園（現聖隷福祉事業団）の中でその運営資金つくりのために牛乳販売等の購買事業を起し、また、結核患者回復者のアフターケア施設としての厚生園を生み出したといえます。鈴木生二氏の創造力、新しいことに向かう力を見て、ハニ・ウォルフさんが十字の園老人ホームを創るときに、理事長に迎えたといえます。30人定員から始まった十字の園は、翌年定員50人、さらに増築して昭和39年は定員100人となりました。創立10周年に御殿場十字の園、20周年には伊豆高原十字の園を創立し、それまでの施設は後進に任せ、自ら施設長として赴いて行きました。創造力、新しいことに向かうパイオニア精神はいかなく発揮されました。

2代目理事長綿鍋義典氏は、十字の園も法人が大きくなり組織が確立されてきた時代であったので、理事長選考委員会が作られその結果、創立当初からの職員であり、浜松十字の園を引き継いできた実績から選ばれました。職員住宅

に居住して、24時間365日を十字の園の働きのために尽くされた人でした。

3代目理事長森本節夫氏は、転職して御殿場十字の園の創設に関わり、開園前の浜松十字の園での実習中に、綿鍋氏から聖隷の精神と福祉人としての心を教えられたと聞きました。御殿場十字の園創設から鈴木生二氏のもとで働き、鈴木氏が伊豆高原十字の園に赴任した後を、後任の施設長として10年、その後、聖隷福祉事業団に出向して、森町愛光園創設と施設長を経験しました。十字の園に帰ってきて綿鍋氏の後任として理事長兼御殿場十字の園園長に就任しました。御殿場十字の園の全面改築と土地取得、翌年に御殿場アドナイ館の創設という大事業を成し遂げました。しかし、就任間もない時に発病し、21世紀に向かうこれからの十字の園に思いを残しつつ退任されました。

予期しない事態の中、私は4代目理事長として就任いたしました。折りしも社会保障制度の改革の時です。無我夢中で介護保険への移行、新会計基準への移行などの陣頭指揮を執り、松崎十字の園の創設や伊東市立養護老人ホームの管理受託という事業に携わってきました。猪突猛進（因みに猪年です）のように突き進んできましたが、ふと立ち止まると大切な役割を疎かにしてきました。次の世代への継承です。

2006年度法人の事業計画に「今年度は、①各施設の経営基盤の確立、②法人全体としての中・長期計画の確立、③職員の質の向上と後継者の育成を基本目標に据え、具体的な取り組みを実施していきます。」と記しました。

仕事（働く）のトライアングルには「収入」「見栄」「好き」があると堺屋太一の本に書かれていました。収入のために働く人、見栄で働く人、好きで働く人、あなたはどの人ですか。私は好きで働いているような気がします。疲れない、挫けない、夢があるのがどうもその証拠のようです。「次の人」を探しています。「好き」で働く人を公募します。十字の園が好き、福祉の仕事が好き、自分が好き、お年寄りが好き、生きることが好き、年齢、学歴、資格も問いません。自薦してみませんか。

## 「人はパンだけで生きるのではなく…」。

社会福祉法人 十字の園 理事（遠州栄光教会牧師） 森田 恭一郎



福音書には、何千人もの人たちに主イエスが食事を備えられた記事があります。マルコ福音書6章を読みますと、そこには大勢の群集がおりました。飼い主のいない羊のような有様であったので、主イエスが深く憐れみ、色々と教え、弟子たちに「食べ物を与えなさい」と言われました。そこにあったのは僅かパン5つと魚が2匹。主イエスは、弟子たちを用いて皆を組に分けて座させます。そしてパンと魚を手に取り、天を仰いで賛美の祈りを唱え、パンを裂いて、弟子たちに渡して配らせ、魚も分配しました。男だけで5千人の人たちが満腹になるほど豊かなものとなりました。

この豊かさはしかし、パンを食べて満腹になる故の豊かさ、衣食住の整う豊かさにとどまらないものです。飼い主のいない羊のような有様であった群衆たち、自立出来ずに右往左往している群衆たちに、主イエスが深い憐れみをもって対面して下さった豊かさです。主イエスが飼い主になって下さった豊かさです。その時人々は最早、群集ではありません。主イエスに対面して組になって座り、心を落ちつけている共同体です。その共同体の前におられる主イエスのお姿は、天を仰いで賛美の祈りを唱えるお姿です。主イエスご自身が父なる神さまと対面して祈っておられる。目の当たりにする主のお姿は、地上にいる人々の思いを、天上の世界の確かさへといざなぎます。

十字の園は「キリスト教の精神に立って、利用者が自立した生活を営むことができるように支援する」(定款第1条抜粋)ことを目的としています。サービスの提供ではなく自立支援が目的です。み言と共に、サービスを提供する職員の執り成しの心と営みを主が用いて下さいます。それを通して、深く憐れみたまう主イエスと対面します。その時、誰もが落ちついた自立へと導かれていると確信します。

## 「これからの福祉と法律の取り組みについて」

社会福祉法人 十字の園 顧問弁護士 梅田 欣一



心身に障害のある人が普通の生活を営んでいくには援助が必要ですが、この援助を提供するための制度を一般に成年後見制度と呼んでいます。

従来から、成年後見制度に相当するものとして、判断能力が低下した人を対象とした禁治産宣告・準禁治産宣告の制度がありました。従来の制度は、社会全体に根強い負のイメージが形成されていること、硬直的で利用しにくいことなどの理由から、その利用は極めて少数にとどまっており、高齢者や精神に障害のある人の援助のためにはほとんど機能していませんでした。

このようなことから、新しい成年後見法が平成11年12月1日に成立し、平成12年4月1日から施行されました。この新法によって戸籍記載が廃止されたことなど従来批判のあった点がかなり改善されましたが、従来から指摘されながら未解決のまま先送りされた問題点も少なくありません。

まず、成年後見制度による援助が必要であるにもかかわらず後見人をつけられない人については、最終的には国が後見を引き受けることが期待されますが、今回の改正ではその点には触れられていません。また、新しい成年後見制度は、身体障害者を対象とはしていません。これは、判断能力の程度によって人を類型化しているからですが、身体に障害があれば、判断能力に問題がなくても自分の財産を管理するのに困難を生じたり、契約交渉をするうえで不利になる場合があります。援助の必要性があることは否めません。さらに、新しい法律ができて、その目的に添った運用を支える基盤が整備されなければ、結局は画餅に帰しますので、家庭裁判所に人的・物的体制の充実、簡易迅速な鑑定方法の開発と鑑定人の確保、後見人等の報酬を支払う資力のない人に対する公費援助等幅広い施策が必要であり、これらの基盤を整備・充実させることは急務といえます。

# 2005 (平成17) 年度事業並びに決算報告

2005年度は、介護保険法の改正が10月施行（居住費及び食費の改訂）と2006年4月施行（介護保険制度の仕組み及び介護報酬の改訂）と2度も実施されました。これに対処するために各施設が連携し法人全体としての取り組みを行いました。社会福祉を取巻く情勢の変化を受け、経営面では法人の各事業決算に影響が出ていますが、法人全体としては、運営の効率化、在宅事業の拡大などの努力により減益の幅を縮小する事が出来ました。

- |          |            |      |         |   |
|----------|------------|------|---------|---|
| 1. 役員会   | 理事会4回・評議員会 | 3回開催 | 5. 施設運営 | 浜松十字の園、御殿場十字の園、伊豆高原十字の園、松崎十字の園の指定介護老人福祉施設及びアドナイ館、御殿場アドナイ館のケアハウス事業並びに身障療護施設オリブ、伊東市立養護老人ホームが順調に実施されました。 |
| 2. 監事監査  | 決算監査及び業務監査 | 2回実施 |         |   |
| 3. 運営会議  | 施設運営の推移と連携 | 6回開催 |         |   |
| 4. 法人研修会 | 法人大会及び職種毎に | 8回開催 |         |   |

## 社会福祉法人会計 貸借対照表 (単位：千円)

資産の部		負債の部	
流動資産	729,201	流動負債	63,621
現金預金	390,530	未払金	55,660
未収金	338,671	預り金	7,961
仮払金	0	固定負債	1,039,558
固定資産	4,077,110	設備資金借入金	897,296
基本財産	3,611,966	長期預り金	115,464
土地	486,300	退職給与引当金	26,798
建物	3,125,666	負債の部合計	1,103,180
その他の固定資産	465,144		
土地	131,126		
建物	1,838		
構築物	2,200		
車両運搬具	18,227		
器具及び備品	59,021		
権利	2,250		
その他	250,482		
計	4,806,311	計	4,806,311

## 事業活動収支差額 (単位：千円)

勘定科目	決算額
<b>事業活動収支の部</b>	
介護保険収入	2,217,667
その他の事業収入	209,112
国庫補助金等特別積立金取崩額	137,292
事業活動収入計	2,564,071
人件費	1,654,371
経費	600,258
(直接介護費)	367,711
(一般管理費)	232,547
利用者負担軽減額	4,926
減価償却費	209,789
引当金繰入	5,794
事業活動支出計	2,475,138
<b>事業活動外収支の部</b>	
借入金利息補助金収入	6,683
受取利息配当金収入	11
寄附金収入	26,515
雑収入	26,451
事業活動外収入計	59,660
借入金利息	15,546
雑損出	13,618
事業活動外支出計	29,164
経常収支差額	119,429
<b>特別収支の部</b>	
施設整備等補助金収入	25,770
国庫補助金等特別積立金取崩額	0
他会計区分繰入金収入	172,372
会計区分外繰入金収入	28,600
特別収入計	226,742
基本金組入額	0
国庫補助金等特別積立金繰入額	25,370
固定資産除売却損	274
他会計区分繰入金支出	172,372
会計区分外繰入金支出	0
その他の特別損出	0
特別支出計	198,016
特別収支差額	28,726
当期活動収支差額	148,155
前期繰越活動収支差額	503,349
積立金取崩額	20,000
次期繰越活動収支差額	671,504

## 公益事業会計 貸借対照表 (単位：千円)

資産の部		負債の部	
流動資産	21,024	流動負債	1,499
現金預金	15,077	未収金	1,499
未収金	5,303	固定負債	0
業品	644	引当金	0
固定資産	134	負債の部合計	1,499
器具及び備品	134		
その他の固定資産	0		
計	21,158	計	21,158

## 財産目録

<b>I 資産の部</b>		合計	750,225,433 円
1. 流動資産			
現金			50,000 円
普通預金	静岡銀行 他		377,364,408 円
定期預金	静岡銀行		28,193,181 円
未収金	(介護報酬他)		343,973,812 円
貯蔵品	(棚卸残高)		644,032 円
2. 固定資産			
(1)基本財産		合計	3,611,965,843 円
建物	(8棟 21,753.55㎡)		3,125,665,417 円
土地	(20筆 25,182.77㎡)		486,300,426 円
(2)その他の固定資産		合計	465,278,210 円
建物	(倉庫・物置)		1,838,001 円
土地			131,126,000 円
構築物	(門扉・陸橋等)		2,199,676 円
車両運搬具			18,227,007 円
器具及び備品			59,155,142 円
権利	(松崎温泉利用権)		2,250,000 円
施設整備等積立預金			108,000,000 円
管理費積立預金			115,464,000 円
その他の固定資産(退職共済積立金)			26,797,884 円
長期預け金			220,500 円
	資産合計		4,827,469,486 円
<b>II 負債の部</b>		合計	65,119,726 円
1. 流動負債			
未払金	(業者支払い他)		57,158,950 円
預り金	(所得税他)		7,960,776 円
2. 固定負債		合計	1,039,558,371 円
設備資金借入金	独立行政・福祉医療機構 5口		864,735,000 円
設備資金借入金	静岡県社会福祉協議会 5口		32,561,487 円
退職給与引当金	静岡県退職共済		26,797,884 円
長期預り金	ケアハウス入居一括徴収金		115,464,000 円
	負債合計		1,104,678,097 円
	差引純資産		3,722,791,389 円

## 公益事業活動収支差額 (単位：千円)

勘定科目	決算額
診療収入	33,768
診療外収入	1,298
雑収入	3,832
事業活動収入計	38,898
事務費支出	6,341
診療支出	11,022
減価償却費	24
繰入金支出	28,600
事業活動支出計	45,987
当期活動収支差額	△ 7,089
前期繰越活動収支差額	26,748
次期繰越活動収支差額	19,659

浜松十字の園及び御殿場十字の園に併設する診療所事業が、公益事業会計に計上されています。財産目録には、社会福祉事業及び公益事業が合算され法人全体の合算合計として決算されています。

## 各施設からの事業報告

### 浜松十字の園 施設長 平井 章

空調設備全面改修工事を4月から行ないました。ユニット単位に9日毎に移動しての工事でした。利用者のご協力と職員のチームワーク、工事業者との連携により無事完了することができました。並行して、居室の壁を土壁に塗り替え、快適な真夏の生活ができました。職員住宅を改装して、日中を普通の家で過ごす試みも実施しました。残存能力の豊かさを見ることができました。正に「老人力」とは、こういう所で発揮するものですね。喫茶室は月曜から金曜日まで毎日午後開店し、メニューも増えました。生活に変化が生まれます。寿司屋、ウナギ屋、レストラン、スナック、そして昨年は「愛・地球博」への外出も楽しい思い出となりました。

### 伊豆高原十字の園 施設長 青木 克文

リスクマネジメントに関する勉強会を重ね、職員一人ひとりがリスクマネジメントを理解し、安心できる介護の仕組み作りに取り組んできました。

また、ケアの質の向上をめざし、サービス基準指針に基づくマニュアルの作成に取り掛かり、各部署でのマニュアルが少しずつ完成しています。

伊東市では昨年度、介護保険施設や在宅サービス事業所が開設されましたが、在宅部門では、各サービス間での連携を大切に、利用者の満足度の向上をめざし事業展開しています。

### 松崎十字の園 施設長 三條 洋二

理念の理解は、松崎教会、下田教会の協力により毎朝の礼拝を続ける事ができました。利用者理解については、法人のリーダ研修に参加した者達を中心に利用者一人ひとりを大切にする事が試みられています。経営は、介護報酬が減らされる介護保険の改定がありましたが収支状況を職員に伝えていく事務の努力もあり黒字決算をする事が出来ました。寄添うケアを行うには職員の配置を2:1行う必要があり人件費の昇給を行いながらでは、これからも厳しい経営を求められています。身障施設オリブは、自立支援法に基づいた運営を模索中であります。

### 御殿場十字の園 施設長 上野 貢一

聖書のみ言葉「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」を掲げ、施設であっても地域であっても高齢者・障がい者が「心豊かに暮せる」ことを願い、支援を行いました。

- 6月 夜8時までのロングサポートデイ開始
- 9月 2級ヘルパー養成事業Ⅱ期実施(21名)  
仲町総合案内所を開設し総合相談開始
- 10~12月 介護予防モデル事業(口腔ケア)実施
- 11月 ガイドヘルパー養成事業実施(26名)  
6月に認可を取り介護タクシー事業開始
- 2月 施設内研修「高齢者の人権と尊厳」実施  
他に包括支援センター開設準備を行いました。

### アドナイ館 施設長 宮岸 孝一

総括、法人の基本理念に基づき基督教の精神を継承するためにも毎朝の礼拝を通して職員2名の受洗者が与えられ感謝でした。

ハウス部門：介護予防（筋力アップ）や、個別の健康管理・服薬管理・感染症対策に取組み、夜間での急変・退居者共にゼロの成果があり、夕食時間をより家庭に近づけ栄養士による栄養相談を毎月1回実施しました。

デイサービス部門：通所介護事業適正運営の為に営業時間を変更し、個別支援の充実・満足度の向上に心掛けました。利用者の利用率は88%、22人/日（昨年より1名増）でした。

### 伊東市立養護老人ホーム 施設長 森 茂廣

昨年4月、伊東市より運営を受託しましたが、初年度は、次の運営目標に取り組みました。

- ① 安心、安定の確保!!  
月例の懇談会等で信頼関係を深めつつ、サービスの継続、安定に努めました。
- ② 生活の質・サービスの向上!!  
「共に生きる普通の暮らし」へ向けて、食事の時間及び雰囲気改革、入浴時間と回数の改善、選べる居場所作り等に具体的に取り組みました。
- ③ 将来への展望を開く!!  
平成18年4月の制度改正を迎えるに当たり、各種介護保険事業所を併設し、運営するための準備を開始しました。

## 伊豆高原でお買い物 伊豆高原十字の園 鈴木 裕子

今回、伊豆高原十字の園からは、毎月パンやお菓子を売りに来てくださっている近所の「森田屋」さんをご紹介致します。

「森田屋」さんは、昭和24年創業の老舗で、近隣の学校給食用のパンを取り扱っているお店です。そこから毎月忙しいお店の合間を縫って伊豆高原十字の園まで移動販売に来てくださっています。利用者の方々も「お菓子屋さんいつ?」「森田屋さんいつくるの?」と、待ち望んでいらっしゃいます。森田屋さんの凄いところは、入居者の顔と名前、そしてお一人お一人の好みの商品まで覚えてくださっている事です。新しい利用者の方の名前もすぐ覚えてくださり、「〇〇さんいらっしゃい。△△持ってきましたよ〜」と、声をかけてくださり、本当に近所のパン屋さんへ買い物に行っているようです。

とても人情味あふれる方で、利用者の方が「子供の明日の朝ご飯に…」なんて言いながらパンを選んでいたりすると、すぐ涙ぐまれてしまう暖かい“お母さん”です。さぁ! 今日森田屋さんが開店です! 廊下は2時間も前から渋滞になっています。



## 大地のめぐみ たけのこ アドナイ館 三輪 真理子

春爛漫の昼休み。職員が鍬を持って外へとひだしていきます。お目当てはアドナイ産たけのこ。朝のうちに目をつけておいて、あとはひたすら掘るのみ。入居者からも情報が入り、ポイントははずしません。お向かいの十字の園の職員や見知らぬ人と競争です。



この時期、たけのこハンターの血は騒ぎ、元気はもりもりです。食べる栄養だけではなく、心の栄養にもなりますね。

さっそく先輩から新人職員にたけのこ掘りの個人指導。さすが、のみこみが早いですネ〜。たけのこご飯がアドナイ館の食卓にのぼったのはいうまでもありません。

今年はいいたけ栽培にも挑戦すべく、しいたけ菌の注射もすませました。どこで栽培しているかは秘密です。……様々な大地の恩恵に感謝!



## 小さな農園 松崎十字の園 鈴木 清彦

松崎十字の園の施設前には空き地があります。その空き地の一画には小さな農園のスペースがあります。この農園はデイサービスの利用者の皆さんと職員との共同作業で支えられています。

西伊豆では冬の間独特の西風が吹きます。そんな寒かった冬が終わり春になると色々な野菜の種を植えることとなりました。きぬさやに始まり、玉ねぎ、じゃがいも、とうもろこし、西瓜やメロンまで…。夏には茄子、胡瓜、トマト。秋にはさつま芋等々。

こんな色々な野菜を上手に育てるコツには「先生」がいます。その先生こそがデイサービスの利用者の皆さんです。農家をやって来られた方や、趣味で園芸をやられていた方など様々ですが、長年の経験を生かして職員に色々な事をアドバイスして下さったり、手本をみせて下さいます。だからこそ上手に美味しい野菜が採れるのです。

採れた野菜も利用者の皆さんと職員の共同作業により、美味しいおかずとして昼食の食卓を飾ってくれます。きぬさやの収穫では、スジをとって胡麻和えや味噌汁にしました。

これからも沢山の収穫が期待されます。小さな農園がやがて本格的な農園になるかもしれませんよ。



## スナックにいつてきました 浜松十字の園 北村 仁美



「湯上りのビールもおいしいけれど、喫茶のお酒の日も楽しみだけれども、やっぱりスナックに行きたい。」というご希望をかなえる為、三名の方をスナックにお連れしました。ぎょうざや、おさしみなどをおつまみにビールや熱燗を飲まれました。ほろ酔い気分になったところで、マイクを片手に「歌えるかしら？」とおしゃいながらも歌を何曲も聴かせて下さいました。他のお客さんとも交流をもて、いつもと違った表情を見せてくださり満足して頂けたようです。Aさんの唯一残念だったのは、あいにくの雨降りの為、散歩がてら行く予定が車で行くことになり、夜風にあたりながら酔い冷ましができなかったことだそうです。それは次回の楽しみにしておくとおっしゃっておられたのでまた、お連れしたいです。

## 地域包括支援センター創設～「迅速、丁寧」をモットーに!!

御殿場十字の園 宮島 克利

介護保険制度の改正に伴い、地域包括支援センターがこの4月から創設されました。

センターの目的は、地域で暮らす高齢者の生活を、介護、福祉、健康、医療などさまざまな面から総合的に支援すること。甚大な業務量であります、非常に、重要な役割であると思います。当センターでも、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員の各専門職が配属され、連携して試行錯誤しながら取り組んでおります。

センターは地理的なことや高齢化率や社会資源の状況等、地域の実情に応じて、その取り組み方等は少しずつ異なり、地域に根付いた取り組みが重要になります。

静岡県内でも既に96カ所が開設されましたが、開設から2ヶ月ほどが経ち、良くも悪くも次第に地域ごと違いが出てきたように感じます。

まだ始まったばかりですが、高齢者がいつまでも住みなれた地域で健康で安心して生活していけるよう、行政、関係機関、地域の方たちと十分な連携をとり、協働して取り組んでいけるよう、「迅速、丁寧」をモットーに努めていきたいと思ひます。



## うちの庭にも遊びに来ませんか? 伊東市立養護老人ホーム 平和の杜 森 茂廣

平和の杜の今年のテーマは「家庭」です。庭のある普通の生活を楽しんでいただきたいのです。1月には寒さの中、入居者有志の皆さんが力を合わせて、壊れた竹垣を新しくして下さいました。2月には枯れ葉や木切れを集めて、焼き芋パーティを開いて、皆で楽しみました。



3月になって、花壇を整備し、野菜畑を作りました。また、今年は例年より早く、そしてやや長期間にわたって「しだれ桜やソメイヨシノ」の花見を楽しむことが出来ました。4月には、裏庭を藨蒼と覆っていたヒノキの木4本を切り倒し、根を掘り起こしました。そして今、見事なサツマイモ畑が広がっています。5月・6月いよいよ庭は活気を帯びてきました。ツバメが玄関に巣を作り、さわやかに飛び交い、うぐいすの鳴き声が心地よく響きわたっています。花々も次々と咲き誇り、私たちが庭へ、庭へと誘います。アウトドアライフシーズンの到来です。入居者の皆さんは、ゲートボールに、花の手入れ、野菜作り、池の掃除に、梅の収穫、そして花の観賞、お天気の良い日の散歩等、…様々に、楽しんで下さっています。

## 2006（平成18）年度 新規採用者

4月1日の辞令交付式で十字の園に新しい仲間が加わりました。



☆浜松十字の園：2名

（介護士）長谷川智美・榎林 直明

☆御殿場十字の園：12名

（介護士）山崎 絵美・前田 理沙・山本 佳世・  
芹澤 保憲・中野 英和・大西 佳織・  
高橋 直輝・中込 麻希・服部千寿子・  
勝又まゆみ・小見山千明

（看護師）後藤小百合

☆伊豆高原十字の園：3名

（看護師）福嶋 亜衣・（ケアマネ）石井美和子  
（相談員）榎本 美江

☆アドナイ館：2名

（栄養士）岡田 有美・（看護師）良島江利子

☆松崎十字の園：2名

（介護士）小山 花菜・（看護師）鈴木 政明



☆伊東市立養護老人ホーム：1名

（介護士）小川 晃

計 22 名（辞令交付式には 19 名が出席しました）

## 温かいご支援をありがとうございます！



去年度も多くの皆様からこころ温まるご支援とご寄付を賜り誠にありがとうございました。皆様方から寄せられたご寄付は、より良い施設づくりのための施設整備及び備品購入にあてさせていただきます。今後とも、福祉共生社会の成熟に貢献しつつ、皆様の声に適切に応える施設として活動する十字の園へのご支援を宜しく願います。

法人本部	11件	51,920円
浜松十字の園	96件	18,212,404円
御殿場十字の園	192件	3,196,358円
伊豆高原十字の園	65件	1,146,512円
松崎十字の園	13件	502,233円
アドナイ館	159件	3,098,314円
御殿場アドナイ館	1件	42,185円
オリブ	1件	15,000円
伊東市立養護老人ホーム平和の杜	19件	250,700円
合計	557件	26,515,626円

皆様の暖かい御支援をお待ちしております!!

〒431-1304 静岡県浜松市細江町中川 7220-11

社会福祉法人 十字の園

理事長 平井 章

銀行振替 静岡銀行細江支店 普通 0015345

## 配食サービス事業車両を頂きました



このたび、伊豆高原十字の園では「ABCしあわせ基金」より、軽車両を寄贈頂きました。

伊豆高原十字の園配食サービスに利用させていただきます。株式会社

ABC様ならびに静岡県社会福祉協議会様をはじめ、ご協力を賜りました関係者の皆様に謹んで感謝の意を表します。



あ  
と  
が  
き

松崎十字の園は、今年で開設5年目を迎える事となりました。年数が経ち大分落ち着きが出てきたように思われます。昨年春になると、ツバメが巣作りをするようになりました。開設当初は、巣作りをする光景はみられませんでした。ツバメもそんな所を察知してくれたのではないのでしょうか。住みやすい場所・安全な場所として選んでくれたように、これからも住みやすく、安心して生活を送れる施設作りをして行きたいと思えます。（鈴）